

小沢捜査の影響どうなる？

鹿島

たからだ。

週前半はランキング圏外だった鹿島が、週末になって一気に7位にランクインした。注目されたのは、民主党の小沢一郎幹事長の政治資金がらみの強制捜査で、13日夜、東京地検が鹿島の本社に自宅捜査に入った。

鹿島は、09年3月期に5期ぶりの最終赤字に転落した。昨年11月12日発表の10年3月期業績見通しでは、前年より売上高が減るものの（1兆9485億円↓1兆6500億円）、営業増益（196億円↓210億円）、最終黒字（160億円）が達成できるとしている。

11月末のドバイ・シヨックで、大手ゼネコンの株価が軒並み暴落、ドバイの無人交通システムを請け負っていた鹿島も例外ではなかった。しかし

年明け、ドバイの政府道路局が工事の進捗に応じて代金を支払うと一部で報じられ、代金回収への不安が後退。株価が上昇機運の矢先の自宅捜査だった。

	銘柄	取引所	株価(円)
1	日本航空	東証1部	7
2	コスモスイニシア	ジャスタック	401
3	東芝	東証1部	545
4	イオン	東証1部	903
5	トヨタ自動車	東証1部	4200
6	大王製紙	東証1部	803
7	鹿島	東証1部	206
8	ベスト電器	東証1部	270
9	任天堂	東証1部	25610
10	パナソニック	東証1部	1553

*15日終値。http://www.ullet.com/

今後の捜査の影響が気になるところだ。

ユーレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたるデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。

企業価値検索サービス ユーレット
アクセス上昇ランキング

(1月10~16日)